

1. 開催の趣旨

24 年度の年間テーマ

「社会に根ざした、社会のための博物館学の検討 ～新しいミュージアムマネジメント理論の構築のために」

本年度の当学会研究大会は、「社会のためのミュージアム～心に残る新たな表現」というテーマで開催されました。また、平成 24 年度から学芸員の新課程が実施され、新しい科目の指導の内容や方法の在り方が問われています。基礎部門研究部会でも新しいミュージアムマネジメント理論の再構築の観点から首記の年間テーマを設定しました。博物館が社会に働きかけてよりよい社会としていくプロセスに、ミュージアムマネジメントの存在意義があるとの仮説をたてました。社会の中の博物館という立ち位置から、「理論」と「実践」を組み合わせ、ミュージアムマネジメントの体系の再構築を視野に、日本、米国、英国、アジア、ICOM 等の博物館に関する理論や実践について、事例報告を基に参加者全員で議論を重ねていきます。今回は近畿支部会との共催で開催いたします。皆さま、ふるってご参加ください。

2. 研究会テーマ

「英国における実践的博物館学の取り組み」(仮)

レスター大学大学院博物館学研究学部の Dr. Viv Golding 氏より、英国の博物館学における大学と博物館の連携事例についてワークショップをまじえながらお話しいたします。

3. 主催：日本ミュージアム・マネジメント学会基礎部門研究部会・近畿支部会

本講演は、平成 24 年度日本学術振興会外国人招へい研究者(短期)事業(研究課題「博物館と大学との連携による教育学芸員養成プログラムの開発に関する研究」：小川義和(国立科学博物館))による。

4. 開催日時・場所

日時 平成 25 年 2 月 2 日(土) 10:00～13:30 (開場 9:30 参加費無料)

場所 京都国立博物館 管理棟 3 F 会議室(入館料無料)

*東門からお入りいただき守衛室で本研究会参加者である由をお告げください。

5. 発表内容(時間・テーマは暫定的。変更することがありますのでご了承ください。)

	発表テーマ	発表者・解説者	発表時間
1	開会挨拶	栗原祐司(京都国立博物館)	
2	本会の趣旨	小川義和(国立科学博物館)	10:00～10:20
3	「英国における実践的博物館学の取り組み」(仮)(日本語通訳あり)	Dr. Viv Golding (the University of Leicester)	10:20～11:50
	休憩		11:50～12:10
4	ディスカッション	司会：黒岩啓子 (ラーニング・イノベーション・ネットワーク)	12:10～13:10
5	まとめ	亀井 修(国立科学博物館産業技術史資料情報センター)	13:10～13:30
6	閉会挨拶	井上 敏(桃山学院大学)	

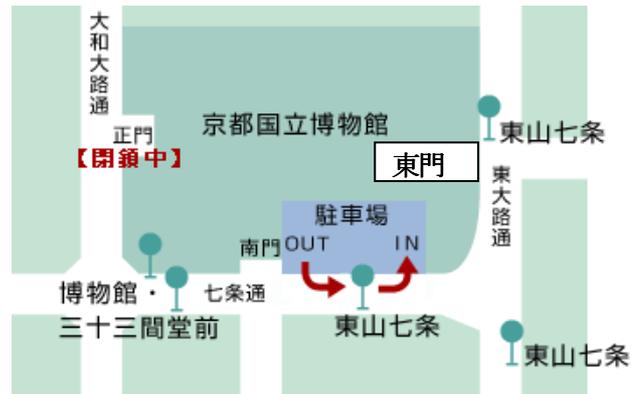
* 終了後、会議室で有志によるランチミーティング「英国博物館協会(Museum Association)の取り組みについて」を予定しています(約1時間)。参加ご希望の方は昼食をご持参ください。

* また、特別展「国宝十二天像と密教教会の世界」展・「方丈記」展の見学もしていただけます。研究会参加申込み時に観覧を希望された方には招待券を当日お配りいたします。

6. 京都国立博物館の案内

<http://www.kyohaku.go.jp/jp/riyou/index02.html>

- JR 市バス京都駅前D1のりばから100号、D2のりばから206・208号系統にて博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ
 京都駅下車、JR奈良線にて東福寺駅下車、京阪電車にて七条駅下車、徒歩7分
- 近鉄 丹波橋駅下車、京阪電車丹波橋駅から七条駅下車、徒歩7分
- 京阪電車 七条駅下車、東へ徒歩7分
- 阪急電車 河原町駅下車、京阪電車祇園四条駅から大阪方面行きにて七条駅下車、東へ徒歩7分
 又は、河原町駅下車、四条河原町から市バス207号系統にて東山七条下車、徒歩3分
- 市バス 博物館・三十三間堂前下車徒歩すぐ、又は東山七条下車徒歩3分



7. お申し込み先 (定員35名：申し込み先着順)

日本ミュージアム・マネジメント学会事務局
 〒136-0082 東京都江東区新木場2-2-1
 電話・ファックス 03-3521-2932
 URL/ <http://www.jmma-net.jp/index.html>
 e-mail/ kanri@jmma-net.jp

【お申込フォーム】

希望研究会名
 お名前
 御所属
 御連絡先 (TEL 又は e-mail 等)
 特別展観覧希望の有無
 ランチミーティング参加の有無